

2023年  
7月3日

学校統合  
第4号



まちだの新たな  
学校づくり  
Machida New School Project 2040

# まちだの教育

主な内容

- 2面 実現したい6つの教育環境
- 3面 新たな学校づくりに関する取組
- 4面 新たな小学校の特長 今後の予定

発行:町田市教育委員会 編集:学校教育部 新たな学校づくり推進課 ☎194-8520 町田市森野2-2-22 MACHIDA TEL:042-785-5471 ホームページ:http://www.city.machida.tokyo.jp

## 「新たな学校づくり基本計画」 ができました!

本町田、南成瀬、鶴川東、鶴川西、南一小、  
各地区で計画を  
進めています



### 1 新たな学校名(案)の選定

子どもたちや保護者、地域の方の大切にしたい想いを引き継ぎ、新たな学校名(案)を選定しました。

たくさんのご意見  
ありがとうございました!

教育委員会では、対象地区の児童、保護者、地域の方からの意見と基本計画検討会での学校名(案)選定の結果をもとに、4地区の新たな学校の学校名(案)を次のとおり選定しました。

新たな学校名は、本町田、南成瀬地区は2025年度から、鶴川東、鶴川西地区は2026年度から使

用する予定です。なお、南第一小学校は学校名を変更しません。



#### 新たな学校づくり基本計画とは?

新たな学校づくりを進めるために  
地区ごとにつくる計画

5地区では、保護者、地域の方、学校協力者、教職員の代表で構成する「新たな学校づくり基本計画検討会」を設置し、約1年に渡って様々な検討をしてきました。

この検討会での検討結果を踏まえて、教育委員会では、2023年3月に、地区ごとの「新たな学校づくり基本計画」を策定しました。この計画には、施設整備、通学関連、児童への配慮、歴史の継承など、学校統合や新校舎の使用開始に向けた取組を示しています。今後は、この計画に基づき、新たな学校づくりを進めていきます。

なお、施設整備については、地区ごとの「新たな学校づくり建設基本計画」を策定しています。



現在の学校名	新たな学校名	選定理由	変更時期
<b>本町田地区</b> 町田第三小学校 本町田東小学校 本町田小学校	本町田ひなた小学校	意見募集等で多く寄せられた地名を大切にしたいという想いを尊重するため、「本町田」という言葉を使用したいと考えました。また、新たな学校の建設予定地である現在の本町田東小学校の近隣に「ひなた村」があり、保護者や地域の方から「ひなたの小学校」として親しまれていることや、「ひなた」という言葉には前向きで明るいイメージがあるといった意見が多く寄せられたため、「ひなた」という言葉も使用したいと考えました。	2025年 4月
<b>南成瀬地区</b> 南第二小学校 南成瀬小学校	成瀬小学校	意見募集等で多く寄せられた地名を大切にしたいという想いを尊重することや、古くは成瀬地域の学校として「成瀬学校」があったことなど、「我が町の学校」として愛着を持てる「成瀬」という言葉を使用したいと考えました。	2025年 4月
<b>鶴川東地区</b> 鶴川第二小学校 鶴川第三小学校	鶴川東小学校	意見募集等で多く寄せられた地名を大切にしたいという想いを尊重するため、「鶴川」という言葉を使用したいと考えました。また、鶴川第三小学校の通学区域を分割して学校統合することを踏まえ、両地区の関連性を重視するとともに、歴史的に「鶴川」とされてきた地域における学校の位置をわかりやすく示す学校名にしたいと考えました。	2026年 4月
<b>鶴川西地区</b> 鶴川第三小学校 鶴川第四小学校	鶴川中央小学校		2026年 4月

※ 2023年度以降、新たな学校名は、市議会での議決を経て決定します。

# 2 実現したい6つの教育環境

学ぶ内容や方法が変わっていく中で、将来の環境変化にも柔軟に対応できる学校施設を整備します。



## 6つの目標を実現します

基本計画では、推進計画に定める「学校施設整備の基本的な考え方」「適正規模・適正配置の基本的な考え方」「新たな通学区域」の3つの要素を踏まえつつ、各地区の新たな学校づくりを着実に進め、

町田市立学校を取り巻く環境変化に柔軟に対応できるよう、6つの教育環境の実現を目標とします。

現在、そして未来を見据えた新たな学校づくりを行うことで、児童・生徒だけでなく、地域の方にも魅力のある学校をつくっていきます。



教育活動への支援や放課後活動、地域の活動を通じて、多様な人々が学校に集い、交流し活動する愛着ある地域の拠点とします。さらに、民間の力を導入することで子どもだけではなく大人も集う学校を実現します。



学校経営には、教員はもちろん、教員以外の人材が不可欠です。施設環境の整備を通して、教員の多忙化に対応するとともに、学校を支えるチーム体制の構築を推進します。



児童の人間関係や多様な考え方に触れ、学び合い、切磋琢磨する機会の充実という観点や、教員の指導体制の充実や学校運営に関する業務の分担という観点から、小学校においては、望ましい学級数として1学年あたり3～4学級の実現を図ります。



新たな小学校は、今後80年使用することを想定し、学校教育にかかる諸制度の改正や将来の予測が困難な状況においても柔軟に対応することができる教育環境を整備します。



特別な支援を必要とする児童に対しては、学校施設の建替えを行う全ての小学校に、「知的障がい特別支援学級」「自閉症・情緒障がい特別支援学級」の設置及び必要な環境整備を行います。

学校施設の老朽化への対応は喫緊の課題です。将来にわたって子どもたちの学校における安全を確保し、安心して学校生活を送ることができる学校施設環境を整備します。

## これからの教育に必要な環境

学校を取り巻く環境は、時代とともに変化しています。教育内容も変化しており、読み書きや計算、知識や技能の習得のほかにも、協働的な学習で思考力、判断力、表現力を養うことが求められています。総合的な学習や習熟度別の少人数指導、小学校における外国語の教科化、ICTを活用した教育活動の推進など、変わりゆく教育内容の変化にも柔軟に対応できる教育環境が求められています。

**ICTの活用**

子どもたち自身がICTを自在に使うことで議論や意見発表を行い、理解を深めていく未来型授業やAI技術を活用した一人ひとりの理解度、習熟度に応じた学びを進めています。ICTを活用し、これからの時代に必要な「課題発見・解決力」「創造性」を育む「新たな学び」を創り出していきます。

**オープンスペースの活用**

グループ学習や学年合同の学習など、多様な授業展開が可能であり、授業以外でも学年集会や異学年交流の場として活用します。また、子どもたちが休み時間の活動の場として活用することができ、教員間での情報共有や相談の場としても活用します。

**ラーニングセンターの活用**

壁面全体に教材や動画などの投影が可能な大型提示装置を設置し、図書や視聴覚教材などの多様なメディアを活用できるようにします。話し合いや発表などの協働的な学習を通して、子どもたちの思考力や表現力を育みます。



# 3 新たな学校づくりに関する取組

新たな学校をつくっていくには、具体的にどんなことをするのか？  
取組の一部を見てみよう！

## 学校統合や新校舎の使用開始に必要なこととは

新たな学校づくりは、各地区で新たな学校づくり基本計画検討会を立ちあげると同時に始まります。学校統合や通学区域の変更を経て、新校舎等で授業が始まるまでには、どの地区も6年以上かかります。

そこで、新たな学校づくりを着実に進めるために検討が必要なことを取組としてまとめました。

学校統合や校舎の引越しを経験する子どもやこれから町田で育つ子どものため、地域にお住まいの方のため、これからも学校内外の様々な方に前向きにご参加いただきながら進めていきます。

これは取組の一部なんだね。  
みんなで力を合わせて進めていこう。



### 1. 通学関連

通学の安全対策として、通学路については、既存の通学路を活用し、安全点検を継続して実施します。新たな通学路に設定される場所については、必要な安全対策を実施します。併せて、各小学校において引き続き安全教育を実施します。

通学距離が長くなることへの対策として、児童生徒の通学時の荷物の負担を軽減するため、新校舎への個人別ロッカーの設置や教材等の携行品の軽減等に取り組んでいきます。また、路線バスを安心して通学に利用できるようにするための方策を検討、実施します。

新たな学校にも安心して楽しく通学できるね！



### 2. 学校統合における児童への配慮

友達が増えてうれしいな！



統合時の児童の不安や負担を軽減できるよう、児童同士の事前交流や生活時程の調整などに取り組みます。また、より良い教育環境が実施できるよう、教育活動や教員の体制、児童が相談できる体制を整えます。

### 3. 学童保育クラブ

一小学校区に一つの学童保育クラブを整備するとともに、適切な育成スペースを確保します。また、保育の質の向上を図るとともに、行き帰りの安全対策や「まちとも」との連携を行います。

### 4. 放課後子ども教室「まちとも」

友達と放課後に何をして過ごそうかな。



希望者が全員利用できるように子どもの居場所を提供します。利用状況を把握し、活動に必要なスペースを整備します。また、放課後の児童の遊びや活動の充実を図るため、学校や学童保育クラブと連携を行います。

### 5. 校歌・校章



統合する学校については、統合前に新たな校歌・校章を作成します。作成方法は、公募や児童の案、地域に縁のある方への依頼など、他自治体の事例を参考に検討します。

### 6. 歴史の継承

今後も新たな学校に愛着を持ってもらえるよう、各校の歴史や想いを継承します。物品は、教育活動への利用などの視点から必要なものを選定し、保存方法等を検討します。また、学校独自の教育活動等についても継承します。

### 7. 避難施設

学校施設は、震災や風水害といった災害時の避難施設です。学校統合に際しては、新校舎や周辺施設、学校跡地において、防災機能の引き継ぎと、地域にとって最適な配置を検討します。



### 8. 学校施設の活用

新たな学校は、より多くの方々に文化やスポーツ等の活動の場として活用してもらえ、施設環境を整えることで、地域の方にも愛着を持ってもらえるような開かれた学校を目指していきます。そのため、児童以外も利用できる区画のセキュリティ、施設利用のルール、予約方法等について検討します。



だれでもいろんな活動ができるよ！

# 4 新たな小学校の特長

安心して楽しく過ごせるように  
検討を進めています。



新しくできる学校が  
楽しみだね!

## 新たな小学校は どんな学校になるの?

町田市では、人間関係や多様な考え方に触れ、学び合い、切磋琢磨する機会の充実という観点から、

小学校の1学年あたりの望ましい学級数を「3～4学級」としました。望ましい学級数の実現を図るために、通学区の見直しや学校の統合を行います。

新校舎は、協働的な学習や学校生活におけるコミュニケーションの促進、多様な学習形態に対応で

きる環境を整備します。小学校ではオープンスペースを整備することで、普通教室を約1.7倍の広さで使えるようにし、協働的な学習や学年単位での活動を展開しやすくします。

### なぜ学校が大きくなるの?

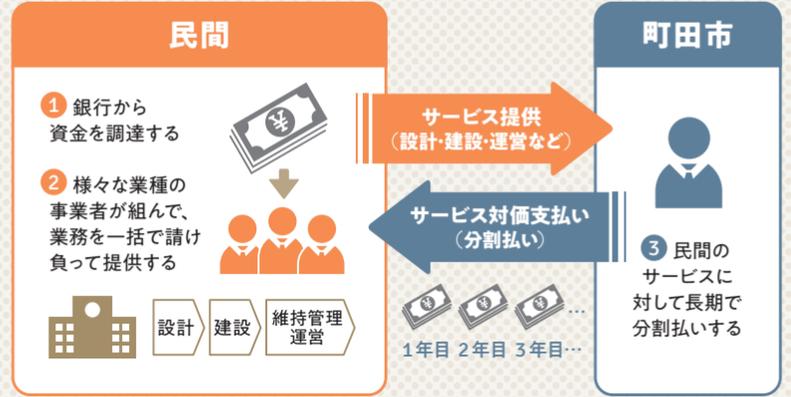
町田市の学校の多くは1960年～1970年代に設計・建設しています。当時の基準と比べて、必要な機能の増加や、面積が大きくなるなど、求められている教育環境は時代に合わせて変化しています。そのたびに、既存施設を改修するなどして対応してきましたが、時代に合った十分な教育環境ではありません。新たな学校では、これらの変化に対応できる施設を整備していきます。

	今の小学校の平均	新たな学校
施設の大きさ	約7,000㎡	約10,000～12,000㎡
普通教室	60㎡	110.5㎡ (オープンスペース含む)
体育館(アリーナ)	約500㎡	約700㎡



オープンスペース

### 新しい整備手法=PFI方式



公共施設の建築は、従来、設計・建設・維持管理などの業務ごとに細かく仕様を定め、分割して発注してきました。PFI方式では、細かい仕様ではなく、求める水準を示したうえで、すべての業務を一括して発注します。そのため、運営・維持管理を見据えた設計ができること、工事期間の短縮や工事費用の圧縮ができることなど、民間事業者のノウハウや創意工夫、発想力を活かすことができます。また、民間事業者が調達した資金を、市が複数年にわたり割賦払いするため、財政負担の平準化を図ることができます。

# 5 新たな学校づくりの今後の予定

引き続き5地区の検討を進めるとともに、  
新たに2地区の検討を始めます。



新しく始まる  
地区もみんなで  
考えていこう!

## 新たな学校づくり 基本計画推進協議会の設置

新たな学校の開校に向けて、2023年度以降も引き続き、保護者、地域の方、学校協力者、教職員の代表とともに話し合う新たな学校づくり基本計画推進協議会を設置しました。推進協議会では校歌・校章の作成方法や歴史の継承方法などの具体的な話し合いや、新たな学校づくりの進捗状況の情報共有を行います。各地区の日程は町田市ホームページでご確認ください。推進協議会の傍聴の申し込みは電話(☎042-785-5471)で受け付けています。



新しい校歌や  
校章が  
できるんだね。  
どうやって作るか  
話し合おう!

## 小山田地区、薬師・金井地区の 意見交換会

統合を予定している小山田小学校と小山田南小学校、薬師中学校と金井中学校についての意見交換会を今年の秋以降に開催します。どなたでも参加可能です。日時や会場については、町田市ホームページでお知らせします。



対象校・新校舎建設候補地	基本計画検討着手	想定統合年度	新校舎使用開始
小山田小学校	2024年	2031年	2031年
小山田南小学校(候補地)			
金井中学校(候補地)	2024年	2027年	2030年
薬師中学校			

### 【お問合せ先】 町田市教育委員会学校教育部

- 学校統合に関すること ..... 新たな学校づくり推進課 ☎042-785-5471
- 学校施設の整備に関すること ..... 施設課 ☎042-724-2174

### まちだの新たな学校づくりに関するお知らせ (町田市ホームページ)

推進計画などの資料は、町田市HPにも掲載しています。右の二次元コードからアクセスすることができます。



リサイクル適性 (A)

この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。

この広報誌は、202,500部作成し、1部あたりの単価は5円です。(職員人件費を含みます。)